

# 病理学コース 本試験

1月29日実施

原先生範囲

①下記表内の空欄を埋めなさい。疾患名は和名でも英名でも略語でも可です。

遺伝性疾患	責任遺伝子
色素性乾皮症 (XP)	
家族性大腸腺腫症 (FAP)	
	p 5 3
	RB
	BRCA1、BRCA2

②下記表内の空欄を埋めなさい。疾患名、病原体名は和名でも英名でも略語でも可です。

感染症関連腫瘍性疾患	責任病原体
成人 T 細胞白血病	
	HPV16、18
Burkitt lymphoma	
ウイルス性肝癌	
胃癌	

③免疫組織染色で分かることを分類しながら例を挙げて示しなさい。

④癌と肉腫の相違点を説明しなさい。

⑤ 下記腫瘍についてカッコ内に医学英語を記入しなさい。

- 乳頭腫( ) 腺腫( ) 扁平上皮癌( )  
移行上皮癌( ) 腺癌( ) 印環細胞癌( )  
線維腫( ) 脂肪腫( ) 軟骨腫( )  
血管腫( ) 骨腫( ) 平滑筋腫( )  
横紋筋腫( ) 繊維肉腫( ) 脂肪肉腫( )  
軟骨肉腫( ) 骨肉腫( ) 平滑筋肉腫( )  
血管肉腫( ) 横紋筋肉腫( )

竹内先生範囲

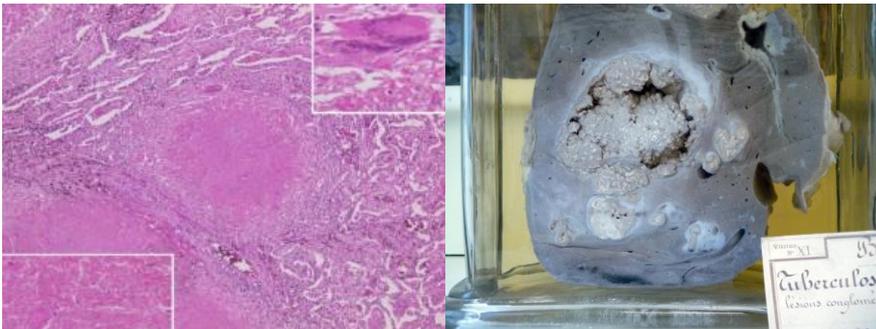
(1) 次の文章のうち正しいものを下記の組み合わせから選べ。

- A; 炎症・免疫反応は生体防御のメカニズムの1つである。  
B; 過剰な免疫反応は機能障害を引き起こすことがある。  
C; 結核菌は滲出性炎症反応は起こさず、もっぱら慢性肉芽腫性炎症反応をもたらす。  
D; 炎症は臓器ごとに引き起こされる。  
E; 抗原抗体複合体には通常は補体は含まれない。  
①AとB ②BとC ③CとD ④DとE ⑤AとE

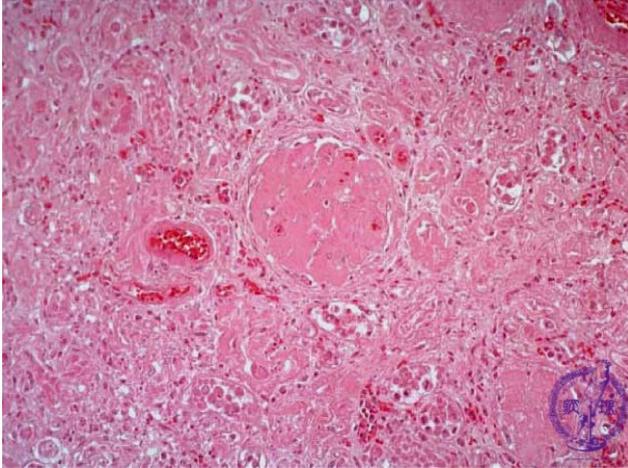
(2) 次の文章のうち正しいものを下記のうちから1つ選べ。

- A; 感染の時期に関わらずウイルス感染細胞は免疫学的に非自己とみなされ排除の対象となる。  
B; 自然免疫の主体をなすのはB細胞である。  
C; 自然免疫は獲得免疫に影響を及ぼさない。  
D; ヒトの場合、ほとんどの効率的な抗体産生にT細胞は必要である。  
E; 馬抗ヘビ毒はヒトでは中和抗体として働かない。

(3) 結核病変に関して、下記の肉眼写真、組織図の肉芽腫の中心部でみられる壊死を病理組織学的に何というか？



(4)自己免疫性疾患の病理組織図を下に示す。



臓器名は何か？

この壊死を何というか？

その壊死、滲出性炎症は何によって引き起こされるか？

考えられる疾患名を記せ。

(5)左下図は腎臓切片を蛍光色素標識抗ヒト IgG 抗体、右下図は蛍光色素標識抗ヒト補体抗体で免疫組織染色をおこない、蛍光顕微鏡で撮影したものである。Coombs 分類、自己抗体、抗原抗体複合体の 3 用語を使用して、左図と右図の違いについて推定される病態を含めて記述せよ。(すみませんが、画像探しませんでした・・・)

杉江先生範囲

①心尖部で opening snap を伴った拡張期雑音を聞いた。どのような疾患を考えるか。

②その疾患の時の循環病態を簡単に説明せよ。

③その末期の引き起こされる諸臓器の傷害は何か。

④その時、引き起こされる末梢循環器障害について説明せよ。

⑤DIC について説明せよ。

宮崎先生範囲

(1)以下のA群に最も関係のある語句をB群とC群から1つずつ選び、解答欄に記号で記せ。

A群

1 ; ポルフィリン症 2 ; Lesch-Nyhan 症候群 3 ; ヘモクロマトーシス  
4 ; ゴーシェ病 5 ; von Gierke 病 6 ; 糖尿病

B群

1 ; 糖尿病 2 ; 自傷行為 3 ; ヘモジデリン 4 ; Kimmelstiel Wilson 病  
5 ; ポートワイン尿 6 ; 肝脾腫

C群

1 ; C型慢性肝炎合併 2 ; レジスチン分泌増加 3 ; HGPRT 変異  
4 ; 肝硬変 5 ; グリコセレブロシダーゼ欠損 6 ; G6PD

A群	B群	C群
1		
2		
3		
4		
5		
6		

(2)Kimmelstiel Wilson 病でみられないのは以下のどれか。

- A ; HbA1C 高値
- B ; 高尿酸血症
- C ; 糸球体硬化
- D ; 尿蛋白
- E ; 低血糖

(3)正しい組み合わせはどれか。

- A ; メタボリックシンドロームは肥満、高脂血症、糖尿病、高血圧が互いに増悪因子として働く。
  - B ; メタボリックシンドロームにより心筋梗塞のリスクは劇的に上がる。
  - C ; アディポネクチンは悪玉のアディポカインである。
  - D ; レジスチンはインスリンの作用を増強する。
  - E ; 高脂血症では HDL/LDL 比が上がる。
- ①AとB ②AとCとD ③BとE ④CとDとE ⑤AとE

(4)単因子遺伝病、多因子病、非遺伝病の関係について図示しながら説明せよ。  
また、ポリジーン疾患は上記のどこに含まれるか答えよ。

#### 富田先生範囲

(1)以下の空欄を埋めなさい。ただし、答えは英語・日本語・略語どれでもよい。

Normal epithelium

↓ ←Loss or mutation of ( ) locus on chromosome 5q

Hyperproliferative epithelium

↓ ←( )

Early adenoma

↓ ←Mutation of ( ) gene on chromosome 12p

Intermediate adenoma

↓ ←Loss of tumor suppressor on chromosome 18q

Late adenoma

↓ ←Loss of ( ) gene on chromosome 17p

Carcinoma

(2)(1)のような考え方を多段階発がんというが、これに対して Normal epithelium から直接 Carcinoma が発生するという考え方を何というか。ただし、答えは英語・日本語・略語どれでもよい。

#### 波多野先生範囲

英語論文からの出題だったので再現不能です……。形式は穴埋めで、選択肢8つから1つ選ばされました。選択肢の一部ですが下に書いておきます。

Aplasia、Anaplasia、Hiperplasia、Hipoplasia

また、波多野先生の範囲で自由記述欄がありました。おそらく何を書いても OK だと思われませんが、チュートリの内容を書いておくのが安全かと。